

款	2 総務費	項	1 総務管理費	最終予算額	決算額
		目	3 文書広報費	4,726千円	4,583千円
担当課決算額				4,726千円	4,583千円

○広報ことうら発行 4,222千円  
町広報紙「広報ことうら」を毎月6,600部発行し、各世帯へ配布しました。また、ふるさと納税者へのお礼として1,500部発行し、送付しました。

「成果」

町の事業や制度など、住民にお知らせしたいこと、お知らせすべきことを、時期を逸することなく広報するとともに、読みやすい紙面となるよう配慮しました。

「課題」

年代を問わず多くの住民に読んでもらえる広報紙となるよう、広報紙への住民参加方法の検討など、更なる工夫をしていく必要があります。

○アナウンス研修 45千円  
行政放送の技術を上げるため、プロの講師によるアナウンスの講習を受けました。

「成果」

指導を受けたことにより、プロからの率直、客観的なアドバイスを受けることができ、問題点が明確になるとともにアナウンスの向上が見られました。

「課題」

今後も放送の文章表現やアナウンスなど、放送技術の向上に積極的に努める必要があります。

○ホームページ運営事業 316千円  
コンテンツ管理システムを利用し、情報発信を行いました。

「成果」

アクセス件数月平均89,676件(2013年実績)  
バナー広告、4件49,000円

「課題」

琴浦町の情報発信ツールの核となるべく、記事を作成する職員の意識づくりが必要です。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	最終予算額	決算額
		目	7 CATV管理費	77,792千円	77,718千円
担当課決算額				77,792千円	77,718千円

○農村多元情報連絡施設管理運営事業 75,779千円  
農村多元情報連絡施設(CATV)の維持管理を行いました。

内 容	件 数
CATV伝送路移設工事	35件
CATV伝送路修繕工事	102件
CATV新規引込工事	49件

CATV加入状況		
年度	加入世帯	加入率
平成25年3月末	4,868	75.9
平成26年3月末	4,865	75.7

「成果」

旧東伯地区の伝送路光ケーブル化設計を実施しました。

「課題」

TCCやエリア内3町が一体となり、住民への情報サービスの検討が必要です。



- 音声告知・防災行政無線システム維持管理事業 1,939千円  
 防災行政無線戸別受信機および地区遠隔装置の管理を行いました。  
 防災行政無線戸別受信機取付 58件



「成果」  
 安定的に防災行政無線の管理が行えました。

「課題」  
 チャイムなど定刻に動作すべきものが部落放送の使用の影響を受け、ずれて流れる事がありました。地区遠隔装置をご利用いただいている部落への周知が必要です。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	最終予算額	決算額
		目	8 企画費	125, 275千円	119, 837千円
担当課決算額				79, 882千円	74, 917千円

- 人件費 44, 920千円  
 一般職 8名 44, 920千円
- 企画関係事務 2, 228千円  
 企画関係事務として、消耗品・文書発送・公用車2台の管理等を行いました。  
 「成果」 上記の事務等を適正に行えました。  
 「課題」 更なる事務の効率化を図ることの検討が必要です。
- 第2次男女共同参画プラン策定事業 50千円  
 期間 平成25年～平成29年度  
 男女共同参画社会の実現をめざして、プランの改定を行いました。  
 「成果」 本町における施策の基本的方向と内容を明らかにしたプランを作成しました。  
 「課題」 プランに基づき、取り組むべき目標や課題を効果的に推進することが必要となります。
- 中山間地域振興対策事業 354千円  
 みんなで支え合う中山間地域づくり総合支援事業補助金を交付しました。  
 「成果」 店舗が不足する地域で食料品、日用品などを供給する支援ができました。  
 「課題」 事業の維持には多大なコストが必要となります。
- 地域おこし協力隊員の募集 2千円  
 古布庄地域の活性化のため地域おこし協力隊員を募集しました。  
 「成果」 応募なし  
 「課題」 募集項目の見直しが必要です。
- 町内地域づくり団体の連携 117千円  
 地域活性化センター・県民活動支援センター負担金
- 塩谷定好写真記念館整備事業 41, 666千円  
 4月26日オープンに向け空き家再生等推進事業補助金活用により改修整備を行いました。  
 「成果」 歴史的建造物の再生、街並みの再生の拠点となる。  
 「課題」 今後の運営の支援の検討が必要です。



## ○琴浦町輝け地域支援事業 1,852千円

自主的な地域づくり活動を通し、地域の活性化、住みよいまちづくり、創造性豊かな人づくり等、健全な地域の発展を推進するため、自治会、団体等が行うまちづくり事業を実施した12団体に補助金を交付し、支援を行いました。

また、成果報告会を開催し、町民の方に活動内容、成果を報告しました。

- ・保部落
- ・琴浦町ミニトマトPR実行委員会
- ・鳴り石の浜プロジェクト
- ・特定非営利活動法人 花本美雄文化振興会
- ・琴浦町の文化振興を図る会
- ・特定非営利活動法人 琴浦グルメストリートプロジェクト
- ・琴浦ウェディングプロジェクト
- ・特定非営利法人 塩谷定好フォトプロジェクト
- ・琴ノ浦まちおこしの会
- ・八橋振興会
- ・クリニカルアート琴浦
- ・琴浦カップ少年サッカー大会実行委員会



琴浦ウェディング「海への誓い」の様子

## 「成果」

各団体とも、本事業実施により目的を達成しており、事業効果がみられます。

## 「課題」

本補助金を単なる運営補助としないよう、事業内容の検証を行う必要があります。採択されたにも関わらず事業未実施の団体があったので、次年度は審査会の時に実現性も含めた聞き取りを行う必要があります。また、新規団体の立ち上げ支援という位置づけで補助金を活用するため、複数年連続で補助を受けている団体については、協働事業への移行など、次のステップに発展していける方法を検討します。

## ○まちなみ環境整備事業 23,207千円

光の鰻絵を観光資源として活用するため、集落内周遊道路をカラー舗装するとともに、土蔵、母屋、門扉等の修景助成を行いました。

- ・カラー舗装(施工延長429.25m)
- ・土蔵等修景(16件)

## 「成果」

集落内の景観を整備することにより、町の代表的な観光スポットとなりつつあります。

## 「課題」

訪れた観光客が、お金を消費していただく仕組みづくりを検討する必要があります。

## ○携帯電話移動通信鉄塔整備事業 44千円

琴浦町内の携帯電話が通じない地区をなくすことを目的に、上中村に建設しました移動通信鉄塔の維持管理を行うため賃借料等を支払いました。

## 「成果」

上中村地区の携帯電話不通が解消されました。

## 「課題」

KDDIに施設を譲渡し維持管理及び賃借料の負担をなくす必要があります。

## ○自治基本条例の策定事業 455千円

琴浦町自治基本条例の策定に向け策定委員会を13回開催するとともに、各地区公民館で琴浦町自治基本条例(素案)の説明会を開催し、条例策定に向け取組みを行いました。

平成25年11月8日に自治基本条例(素案)が町長に提言され、それを基に条例案の作成を行いました。

## 「成果」

平成23年7月から取組んできた自治基本条例案が完成しました。

## 「課題」

条例案を住民の方へ周知する方法、様々な意見をどう整理するのか検討が必要です。

## ○技術顧問業務委託事業 4,388千円

建設技術等に係る高度な専門技術を有する技術者(中電技術コンサルタント株式会社)から、各地区公民館の耐震診断に関し助言等支援をしてもらいました。

町営住宅の外壁修繕など比較的簡易な建築営繕業務の設計、積算については、町内建設コンサルタントから発注資料、設計書の作成などの支援を受けました。

また、人口減対策キャッチコピー、健康ポイントラリーのチラシの作成などをデザイン業者から支援を受け作成し、PR等を行いました。

技術顧問業務委託 2件

営繕設計関係等業務委託 9件

デザイン顧問業務委託 5件

## 「成果」

専門知識を必要とする業務を委託することにより、町の技術者不足を補い、業務を円滑に遂行できました。

## 「課題」

技術顧問、デザイン業務制度を各課へ周知し、有効かつ効果的な事業の活用を図る必要があります。

## ○鳥取大学との連携事業 44千円

本町の地域活性化事業推進と鳥取大学の教育・研究及び社会貢献事業において相互に連携・協力を図りながら取り組みました。

## 「成果」

農林水産・まちづくり・教育・商工観光・健康福祉分野における各種事業を連携して取り組みました。

## 「課題」

地域との連携を、どのように発展させながら継続していけるのかが課題です。

## ○琴浦町協働事業提案制度 212千円

公益的、社会貢献的な事業であって、協働事業を提案する団体等と琴浦町が協働して取り組むことによって、地域や社会的課題の解決が図れる事業を行いました。

また、成果報告会を開催し、町民の方に活動内容、成果を報告しました。

・コトウラ環境リサイクルの会

## 「成果」

EM菌を利用したプール清掃や堤の水質浄化活動など、環境美化に資する事業を協働して実施しました。

## 「課題」

本事業について応募数が少なく、有効活用されていません。周知方法の見直しが必要です。

## ○工事検査委託事業 298千円

年度末に集中する工事・業務の完成検査において、検査補助員を雇用し検査補助業務を行いました。

## 「成果」

検査補助員を活用することで、検査員に集中する業務の負担軽減が図れました。

## 「課題」

工事点数を採点するにあたり、基準の統一化を図るとともに、検査日程の調整のあり方を検討する必要があります。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	最終予算額	決算額
		目	11 電算機管理費	69,251千円	59,271千円
担当課決算額				69,251千円	59,271千円

○電算管理 59,271千円

窓口業務の迅速な対応を行なう上で必要な電算システムを安定的に稼働させるため、サーバー、パソコン、プリンター等、各機器の維持管理を行いました。

また制度改正に対応するためにシステム改修を行いました。



【行政システムの保守】

項目	内容
行政システムハードウェア保守	プリンターの紙詰対応やサーバ及びその周辺機器の不具合対応を行いました。
行政システムソフトウェア保守	行政システムのエラー対応やシステムを操作しやすいように適時のバージョンアップを行いました。
行政システム運用支援	システムの年度切替処理やセットアップ、障害対応等の重要な業務処理を専門業者に委託しました。
平成24年度制度改正対応	平成24年度の制度改正に伴い、固定資産税・住民税等の行政システムの改修を行いました。

職員の業務遂行の一助となっている庁舎内LANの安定稼働を図るため、パソコン、プリンター、ネットワーク機器の維持管理を行いました。

【各種ネットワークの保守】

項目	内容
庁舎内LAN保守業務	本庁舎と分庁舎、各出先機関をネットワークで接続し、各種行政システム等が利用できるようネットワーク機器を適正に管理しました。
公的個人認証システム保守業務	個人がインターネットを利用した電子申請を行なう際、本人確認をする時に必要となる電子証明書の発行システムを適正に管理しました。

鳥取県内各自治体等と琴浦町役場を結ぶ行政ネットワークとして活用しています鳥取県情報ハイウェイの機器について、安定稼働するよう維持管理を行いました。

「成果」

システムの改修・運用支援等に、迅速に対応し、業務を常に安定して行えるよう維持管理しました。

「課題」

町では、システムやソフトウェアの保守等について、初期導入業者と1社随意契約を締結しているものが多数あります。

また、複数業務の契約が一つの業者に集中しているため、他業者との比較・競争部分を検討できるよう、現在契約している業者と積算根拠についての協議を引き続きする必要があります。

それに加え、平成26年度の基幹システム・ネットワーク保守更新に向けた仕様の吟味(業務の利便性向上を考慮、競争性の確保)も進める必要があります。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	最終予算額	決 算 額
		目	15 企業誘致	12千円	11千円
担当課決算額				12千円	11千円

○企業誘致事業 11千円  
 倉吉市や松江市へ先進地視察を行い、企業誘致を推進するための体制づくりや補助制度設計の検討を行うとともに、企業誘致候補地の選定を行いました。

「成果」  
 26年度から本格的に企業誘致へ取り組むにあたり、補助制度の創設、職員体制、新たな候補地の検討等、体制作りができました。

「課題」  
 企業を誘致するための候補地について、地元の理解を十分に得る必要があります。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	最終予算額	決 算 額
		目	7 CATV管理費(繰越明許)	11,526千円	11,526千円
担当課決算額				11,526千円	11,526千円

○農村多元情報連絡施設管理運営事業(繰越明許) 11,526千円  
 伝送路の張替えまでもたない箇所の修繕を行いました。  
 落雷被害等に備えるため、伝送路アンプを購入しました。

款	12 諸支出金	項	1 諸費	最終予算額	決 算 額
		目	1 国県支出金返納金	25,112千円	24,978千円
担当課決算額				187千円	187千円

○光地区街なみ環境整備事業(補助を受け修繕した物件を全面改築したため) 187千円  
 ・社会資本整備総合交付金(国) 141千円  
 ・とっとの美しい街なみづくり補助金(県) 46千円